

## 全国のあいつぐ差別事件

### —その概説と分析—

#### はじめに

本書は、基本的には二〇〇四年四月から二〇〇五年三月までの間に生起もしくは発覚した差別事件、あるいはこれ以前に発覚し、この間に糾弾会などで集約を確認した差別事件を拾い上げ、そのなかから比較的事実関係が明確で、典型的な事件を選んで編集・紹介している。

対象とした資料は、『解放新聞』中央版や各都府県版、各地定期大会討議資料や学習会資料、その他各都府県連が集約した資料等である。

編集にあたっては可能な限り資料収集に努めたが、都道府県別索引をみても、都道府県によって紹介した件数に差がある。またこれらの数字がすべてではなく、都府県連段階で集約しきれていない支部・地協レベルでの未確認情報が多数あるように思う。については、そういった細かな情報等があれば是非ともお知らせいただければ幸いである。

これら収集した差別事件について、①全国大量連続差別投書・ハガキ等事件、②差別投書・落書き・電話、③インターネットによる差別事件、④地域社会での差別事件、⑤就職差別事件、⑥企業・職場での差別事件、⑦公務員による差別事件、⑧結婚差別事件、⑨教育現場における差別事件、⑩宗教界での差別事件、⑪マスコミ・出版界における差別事件、の一一項目に分類している。ただし、複数の項目にまたがると思われる差別事件については、これまでと同様に、より適切と思われる項目に編集部で分類した。

本書で紹介した差別事件は氷山のほんの一角にすぎないが、少しでも差別の現実を知る手がかりとなり、また差別撤廃への取り組みの基礎資料として役立てば幸いである。